

児童朝会 校長の話 1月20日

先週は展覧会・書き初め展でしたね。皆さんの作品を一枚一枚よく見ると、どんなことを表現したかったのか、どんなところを工夫したのかが伝わってきました。どの作品も素晴らしかったです。



さて、25年前の1月17日、阪神淡路大震災が起きました。神戸を

中心に、震度7の大きな地震が発生しました。大都市で起きたので、高速道路がなぎ倒されています。ビルが崩れたり、鉄道の線路がぐにゃぐにゃに曲がったりしました。さらに火が燃え広がって大きな火災になりました。(写真)。6434人の方が亡くなりました。大きな被害をもたらした震災でしたが、実際にあった話を紹介します。絵本になっています。「はるかのひまわり」です。

震災によって亡くなってしまった小学6年生のはるかさんでしたがその年の夏、家の跡地にひまわりの花が咲きました。はるかさんの隣の家で飼っているインコに、はるかさんがいつも餌のひまわりの種を上げていました。そのひまわりの種から芽が出て花が咲いたのでしょうか。そのひまわりから取れた種を次の年も「はるかのひまわり」として、はるかさんの家の近くの路地に蒔きました。それからその種は日本各地に配られて植えられるようになりました。「はるかのひまわり絆プロジェクト」です。東日本大震災の被災地でも植えられています。命の大切さを伝えると同時に、震災によって傷ついた人の心を支えています。素敵な話ですね。実は先生は何年か前にはるかのひまわりの種を蒔いて花を咲かせました。皆さんもどうぞ、自分の、そして友達のを大切に生活してください。